

小5

中学受験 算数

ポイント

名前 _____

消去算

____ 月 ____ 日

まとめ 消去算

特殊算

標準

- ① 2つの式を見比べ、そろっている個数を見つける
てから引く) ③ 1個あたりの差で、全体の差をわる

- ② 式を引く(そろっていなければ倍にしてそろえ

例

- (1) りんご3個とみかん2個で670円、りんご3個とみかん5個で940円。みかん1個は？

りんごの個数がそろっているので、引く
みかんの差は $5-2=3$ (個)、代金の差は
 $940-670=270$ (円)
みかん1個は $270\div3=90$ (円)

片方の個数がそろっていれば、そのまま引いて消す

- (2) ノート4冊とペン3本で900円。ノート1冊はペン1本より50円高い。ペン1本は？

ノートをペンにおきかえると、代金は
 $4\times50=200$ (円)安くなる
 $900-200=700$ (円)がペン7本分
ペン1本は $700\div7=100$ (円)

高い方を安い方の言葉で置きかえると、1種類の式になる

- (3) りんご2個とみかん5個で650円、りんご4個とみかん3個で670円。みかん1個は？

1つ目の式を2倍すると $650\times2=1300$ (円)で、
りんごは4個分になる
 $1300-670=630$ (円)が、みかん $10-3=7$ 個
分の差
みかん1個は $630\div7=90$ (円)

りんごの個数をそろえるために、1つ目の式を2倍してから引く

- (4) りんごとみかんを合わせて12個買って1300円。
このうちりんごは7個で630円。みかん1個は？

みかんの個数は $12-7=5$ (個)
みかんの代金は $1300-630=670$ (円)
みかん1個は $670\div5=134$ (円)

わかっている分を全体から取りのぞくと、残りだけの式になる

